

報道関係者各位
プレスリリース

【スポーツの日】

新感覚のスポーツエンターテインメントゲーム「STACKING BOX」が始動！初回挑戦者に体操界のアスリート池谷幸雄・直樹兄弟が参戦。

発泡スチロール協会(東京千代田区 会長 柏原正人)は、発泡スチロールの箱を積み上げ、タイムや高さの記録を競う新感覚のスポーツエンターテインメントゲーム「STACKING BOX(スタッキングボックス)」を開始いたします。



初回挑戦者として体操界のアスリートである池谷幸雄・直樹の兄弟対決が実現。10月9日のスポーツの日に公式サイト(<https://www.stacking-box.com>)にて公開いたします。今後は、各界のスポーツアスリートが順次「STACKING BOX」の記録に挑戦して行きます。

STACKING BOX(スタッキングボックス)とは

発泡スチロールの箱を製造する成型加工メーカーでは、製造された箱を倉庫のスペース効率を上げるために軽量であり頑丈な特性から高く積みあげ、出荷までの間保管されます。箱の移動や積み上げや移動は人の手で行われ、そこには、熟練の『技』と絶妙な『バランス』を持ち合わせたプロフェッショナルが存在します。

発泡スチロール協会では、協会に加盟する成型加工メーカーに従事するプロフェッショナル達の ●技術向上 ●正確な作業の確立 ●安全意識の高揚 に寄与することを目的に発泡スチロール競技会『スチレンピック』を2016年より開催しています。

この「スチレンピック」はこれまでに沢山のテレビ番組で取り上げられ数多くのアスリートやタレントさん達に挑戦していただきました。そこで、単純でありながらエキサイティングな発泡スチロールの積み上げを沢山のの方々にもチャレンジしていただく事ができるゲームとして生まれたのが『STACKING BOX』です。



発泡スチロールを積み上げて保管



発泡スチロール競技会『ステレンピック』

2つのチャレンジゲーム

『STACKING BOX』では、箱一つのサイズが幅 55cm、奥行き 35cm、高さ 12cm で重さが約 100g の魚を入れる魚箱を使用。この魚箱 10 個を束ねたものを一段として積み上げ、記録に挑戦します。『STACKING BOX』には以下の2つのチャレンジゲームがあります。



【チャレンジ①】 HAKOMOVE(ハコムーブ)

発泡スチロールの箱を一定数積み上げて 3m先の台まで崩さずに移動させたタイムが記録となります。HAKOMOVE は 3 つのステージから成り、1st ステージでは 10 段を積み上げて運び、クリアしたらさらに5段を追加した 15 段を運ぶ次のステージに挑戦する事ができます。最終ステージでは 20 段を運び各ステージでのタイムが記録となります。

【チャレンジ②】 HAKOZUMI(ハコヅミ)

発泡スチロールの箱をひたすら高く積み上げ、積み上げに成功した段数が記録となります。

挑戦機会を広げて行きます

「STACKING BOX」は、98%が空気の発泡スチロール製の箱を使用するため、安全で誰でも安心して挑戦する事ができます。公式サイトでは「STACKING BOX」に挑戦するスポーツアスリートを募集しています。さらに、挑戦する機会として体育館がある高校、大学の学園祭や体育祭、市民祭といった場面での実施へ広げて行きたいと考えています。

発泡スチロールについて

98%が空気のできた省資源素材

発泡スチロールは、原料となるビーズを約 50 倍に膨らませ(発泡)て作るため、製品全体の 98%が空気の省資源な素材です。そのため「軽く」て「クッション性」や「断熱性」に優れ、生活のあらゆる場面で活用されています。高い断熱性能は、保温・保冷が必要な魚や野菜を輸送する容器や住宅断熱材として、クッション性能は家電や精密機器を衝撃から守る緩衝材として活用されています。

温暖化抑制に貢献

発泡スチロールの高い断熱性は、住宅の冷暖房効率を高める断熱建材として省エネ住宅に欠かせない素材として需要を伸ばしています。

90%以上の高い有効利用率

発泡スチロール協会では、30 年以上前から使用済み発泡スチロールの回収、再資源化に取り組み 2020 年から 90%を超える高い有効利用率を維持し 2022 年の実績で 92.3%とプラスチックの中でもトップクラスとなっています。

発泡スチロール協会について

発泡スチロール協会(JEPSA)は、1991 年に原料メーカーと成型加工メーカーにより設立された業界団体です。「発泡スチロールの優れた特性で地球環境を守ります。」をビジョンとして、世界の団体と連携しながら、様々な場面で活躍し地球にやさしい「発泡スチロール」の良さをわかりやすく伝えることで生活のあらゆる用途で使っていただき、世の中に役に立つことで発泡スチロール業界の発展に貢献する活動を行なっています。

挑戦アスリート

【池谷幸雄・いけたに ゆきお】

1988 年・ソウルオリンピック、1992 年・バルセロナオリンピック 2 大会連続でメダルを獲得。2001 年には「池谷幸雄体操倶楽部」を設立し指導をおこなう傍ら、オリンピックを目指す選手の育成も行なっている。

【池谷直樹・いけたに なおき】

全日本社会人選手権 個人総合4位、鉄棒種目優勝。TBS系スポーツマンNo.1決定戦において、MONSTER BOX23段を日本人として初めて跳び、その記録は現在も破られていない。ミュージカル「サムライ・ロック・オーケストラ」の創始者でもある。

【報道関係者のお問い合わせ先】

発泡スチロール協会 広報部 佐藤喜一

電話:03-3861-9046 メール:k-sato@jepsa.jp